

1面 晩春から初夏へ 季節の変わり目を堪能する 六義園のサツキとアジサイ
ASAHI BOOK PRESENT
今どきの子育て&教育 ~韓流ブームの今

2面 特別寄稿 朝日新聞記者の目
お金とお国柄
朝日新聞社 牧野 愛博

5年ぶりに日本で生活を始めて感じるのは、当たり前だが、日本人の細やかな気配りやサービスだ。スーパーやコンビニでは、接客に笑顔が絶えないし、買いたい品物の場所を尋ねれば、親切に連れて行ってくれる。テキパキと物事を進めるのが苦手な私には大変有り難い。

毎日が、散歩の途中
ただいま練習中
文と絵/岡本 杏子

町ネタ東西南北
3面-4面 shoppin navi.
るり整体院/中里健進はり灸整骨院/ワタナベフォトスタジオ/ドリームミュージック(旧田村音楽教室)/居酒屋 たぬぎ/自家焙煎カフェ クロスファイブ/すり鉢茶 さくらびより/オステリア セルヴァージュナ/干物まる 鶯鳴地蔵通り店/駒込デンタルオフィス/パーバショップ クラウド/アートスタジオ・セト

次号『北の手かわら版』文月号は、6月24日(日)の発行予定です。



晩春から初夏へ 季節の変わり目を堪能する 六義園のサツキとアジサイ

JR駒込駅ホームからの つつじながめ。花の盛りを過ぎ、緑の葉が日に日に濃くなってゆく



訪れた5月中旬、六ツツジ茶屋から見下ろす眺め。ツツジと入れ替わるように、サツジの勢いが盛んだ

ツツジ茶屋へ向かう道の空を見上げれば新緑を透かして木漏れ日が降り注ぐ



JR・東京メトロ駒込駅よりすぐの六義園。5月31日(木)までの平日と、6月1日(金)・24日(日)までの終日、正門が閉鎖されているため、普段は閉鎖されている染井門が出入り口となる。駒込駅から徒歩2分のため、アクセスには便



公園へ行こう(公益財団法人 東京都公園協会) <http://www.tokyo-park.or.jp/park/format/map031.html>より



「つつじまつり」も終わり、落ち着いた園内は、サツキへと移りゆく季節の変わり目の景観。四季折々を楽しませてくれる六義園の初夏のイベントは、「初夏の六ツツジ茶屋から見るす眺め。ツツジと入れ替わるように、サツジの勢いが盛んだ

義園の園内は晩春から初夏へと移りゆく風情が、ことのほか心地よい。「つつじまつり」も終わり、落ち着いた園内は、サツキへと移りゆく季節の変わり目の景観。四季折々を楽しませてくれる六義園の初夏のイベントは、「初夏の六ツツジ茶屋から見るす眺め。ツツジと入れ替わるように、サツジの勢いが盛んだ

義園へさつきと和のあじさいを楽しむ」だ。来る6月10日と17日の日曜日の12時より、「あじさい特別ガイド」が開催される。多種で知られるツツジだが、また園芸種としての「挿し木」の容易さでもなじみ深い。駒込ならではといえる園芸入門として、興味のあつ方は「つつじの挿し木教室」も見逃せない。6月16日(出)の10時



樹齢数百ケキの大木。都心で威風堂々たる樹勢を見られるのも六義園の醍醐味



心泉亭

より12時までの開催となる。(事前申込制)

今どきの 子育て&教育

韓流ブームの今

韓流ドラマやK-POP、新大久保にハマっている方、いませんか? 私もたまに東京・新大久保のコリアンタウンに行くのですが、行くたびに各層と街の様変わりに驚くばかり。3月26日号の「AERA」でも、カタツムリのコスメ、マッコリなどのブームを取り上げていましたが、いまや韓流はエンタメから食品・飲料、化粧品、家電、書籍にまで及んでいます。

弊社で出している「科学漫画サイババルシリーズ」もその一つかもしれません。同シリーズは、主人公の少年たちが恐竜世界や昆虫世界、無人島などに迷い込み、持っている科学知識を駆使して脱出を図るという物語。版元はソウルの教科書会社で、世界中で2千万部以上が売れ、日本では2008年から翻訳出版されています。

◆今月の一冊◆
自然史ミュージアムのサバイバル1
ゴムドリ co. 著/韓賢東 絵
朝日新聞出版 定価1,260円

今話題の新刊を 抽選で合計20名様に プレゼント!

ASAHI BOOK PRESENT

まんがで学ぶ成功企業の仕事術 ソフトバンク①②③
バラエティ・アートワークス著 定価各672円

日本の企業を漫画で紹介する新シリーズ! ソフトバンクの創業者・孫正義氏が、売上高3兆円の巨大企業をつくりあげるまでの姿を描く。全3巻をセットでプレゼント。

【応募方法】〒住所、氏名、年齢、電話番号、書名1点を明記の上、はがきでT104・8011(所番地不要)朝日新聞出版販売部直伝課「ミニコミ」係へご応募ください。6月30日(土)消印有効、7月上旬発送。当選者の発表は発送をもってかえさせていただきます。

※お送りいただいたはがきで書名から提供された個人情報、厳重な管理の下、朝日新聞出版の商品紹介に利用させていただきます。

南三陸日記 三浦英之著 定価1,575円

朝日新聞朝刊の人気連載コラム「南三陸日記」を単行本化。震災後に宮城県南三陸町に赴任した記者が、被災地に住んで感じた日常の変化や、人々の心の揺れなどを細やかに描く。胸を打つ写真も掲載。

南三陸日記 三浦英之著 定価1,575円

住んで泣いて記録した 朝日新聞の好評連載 南三陸日記を単行本化 10名様